

## IMAGINE ROTARY

2022-23年度 RI会長／ジェニファー・ジョーンズ  
RI.D2590ガバナー／志村 雄治  
横浜旭RC会長／安藤 公一

「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。  
私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。」

国際ロータリー第2590地区

### 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821  
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712  
http://yokohamaasahirc.cho88.com  
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川相鉄ライフ 4Fコミュニティサロン  
例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



横浜市幼稚園協会へエコペーパー石鹸配布



ガールスカウトとクリーン作戦



鎌倉・江の島へ親睦旅行

## 2023年2月8日 第2494回例会 VOL.54 No.27

- 司会 親睦 北澤 正浩
- 開会点鐘 会長 安藤 公一
- 出席報告

会員数	18名	本日の出席数	15名
本日の出席率	83.33%	修正出席率	76.47%

- 本日の欠席者／宋、二宮、中谷
- 誕生日祝い／佐藤真吾会員 2.6



### ■米山功労賞

田川富男会員（第3回）・佐藤真吾会員（第4回）



### ■会長報告

安藤 公一

2月3日に行われた横浜瀬谷RCとの合同例会にご参集頂いた皆様、お疲れ様でした。ほぼ4年ぶりとなる瀬谷RCとの合同例会はとても

楽しいものでした。今後も1年に1回はこのような交流会をコロナ前と同様に継続して行き、ロータリークラブの柱である親睦を通じて奉仕の輪を広げていきたいと改めて思った次第です。

先ずは2日前に発生したトルコ南東部・シリア北西部にまたがる地域でのマグニチュード7.5を越える大地震です。既に死者は7500名を越え、今後被害の詳細が明らかになるにつれ被害者の数も増えることが予想されます。被災された方々へ心よりのお見舞いを申し上げるとともに一人でも多くの方の救済が行われることを願って止みません。地区からも近々支援要請が来ると思いますので対応準備をしたいと思います。

このところ幾分寒さが和らぎ始めている感じですが、週末にかけて冷たい雨または雪が関東地方平野部を襲う予報です。まだまだ冬は終わりそうにありません。季節の変わり目は1日の寒暖差も広がってきて、杉花粉も飛散し始めているようです。新型コロナ・インフルエンザのみならず健康管理には一層の注意を払っていき1か月半後に控えているお花見シーズンを期待しながら過ごしていきたいと思っています。

スポーツでは、昨日パラテニスの国枝慎吾選手の引退会見がありました。28年間の現役生活の中他人には言えない、言っても分かってもらえないご苦労があった中「俺は最強だ」とい

う言葉で自らを奮い立たせ生涯グランドスラムとパラリンピック金メダルそれも複数回、という偉業を成し遂げられたことに心より敬意を表します。本当にお疲れ様でした。16歳の小田選手も国枝選手の後を追い駆けるように1月の全豪オープンでは準優勝という成績を上げています。小田選手の今後の活躍に期待します。

2/5の女子スキージャンプでワールドカップでは日本人3選手（伊藤、丸山、高梨）が表彰台独占と明るいニュースを届けてくれました。皆さんご存知ないかもしれませんが、2/5にラグビー日本女子選手権で山九フェニックスが初優勝を飾りました。監督は、新横浜RC所属の四宮洋平氏でバレーボール女子元日本代表の荒木絵里香さんの旦那様です。因みに同氏は桐蔭学園ラグビー部では私の12年後輩です。

#### ▷地区関係

1) グローバル財団奨学生の応募が締め切り直前にまいりましたので、2月15日に面接を予定しています。

2) 米山奨学生世話クラブの依頼がありました。地区からの依頼の書面は回覧します。中国河南省出身の25歳の女性で横浜国立大学で国際経済法学で博士号取得を目指しておられます。

3) 第5グループの合同「入会候補者会食会」が来年1月28日(土)17時より、ロイヤルホール横浜で開催され、私と関口大樹さんが参加してきました。

4) 2023-24年度地区補助金プロジェクト募集の案内が参りました。申請期限は2月28日です。各奉仕活動のリーダーはこれを有効活用できないかお考え頂きたく存じます。

5) 地区より入会3年未満会員対象の交流会が3/24(金)17時よりインターコンチネンタルホテルで開催すると案内がきました。該当する会員の方はご参加ください。

6) ローターアクト関東ブロック研修会(4/29-30)の案内が届きましたので、回覧致します。

#### ▷クラブ関係

7) 1月28日に開催されたズーラシア駅伝の開会式に参列してきました。特別後援として北沢建設さんが支援されており、参加者全員のゼッケンに北沢建設の名前が刷られていました。人数不足で北沢社長自ら出走されたとお聞きしました。お疲れ様でした。その際に権藤旭

区長にもお会いできたので、卓話に来て頂きたいとお願いしておきました。

8) 1月29日(日)旭公会堂で東日本大震災被災地支援チャリティーコンサートを13時より開催され、第五グループガバナー補佐の佐藤さんもお見えになられていました。

9) 来週の卓話は加藤明彦様で黒船来航と鉄道開業・二俣川と重忠というテーマでお話頂けることになっています。

10) 本日例会終了後理事会を開催しますので、理事の方々お残りください。

#### ■幹事報告▷例会臨時変更のお知らせ

##### ○新横浜ロータリークラブ

2月24日(金) 夜間例会 17:45点鐘

ザ・カハラ・ホテル&リゾート横浜

##### ■災害対策委員会報告

五十嵐正

2月1日災害復興くらし応援・みんなのネットワーク主催「災害時の連携を考えるかながわフォーラム」にゲストとして参加、クラブの10年にわたる災害復興支援活動と備えとしての、岩沼RCとの災害時相互支援協定と横浜旭RC災害支援基金について説明して参りました。

当日はNPOや県の関係団体が58集まり、災害の専門家の方々に前に少々緊張しましたが、皆さん熱心に聞いてくださり、質問では、災害時相互支援協定の継承の方法や、防災簡易心得帖でんでんこの内容について評価をいただき、後日あるNPOの方から、自分達の活動の際でんでんこを配りたいので、送って欲しいのと依頼も受けました。

また、県の社会福祉協会の課長（大関さん）がいらっしゃったので、以前より考えていた私の個人的思いつきを伺いました。それは、横浜で災害があった時、おそらく次の日からボランティアが手弁当で駆けつけて来てくれるはずで、そういう方々のボランティア保険を、RCが支援するような事は可能でしょうかと伺いました。

※因みにボランティア活動保険とは

加入には、社会福祉協議会への登録が必要。

①グループが社会福祉協議会に登録され、立案された活動であること。

②社会福祉協議会に届け出た活動であること。

③社会福祉協議会に委嘱された活動であること。といった要件が必要です。保険金は一人500円です。

大関課長は可能とおっしゃり、災害時におけ

る社協の活動内容など一度クラブに説明に来て頂ける事となりました。(3月1日予定)ボランティア保険をクラブが支援する事ついて、私はクラブの災害支援基金の活用を考えており、今後委員会にて議論をしてみたいと思います。

#### ■チャリティーコンサート部会 新川 尚

1月29日にチャリティーコンサートが無事開催出来ました。学校数、客数、募金額ともに前回は下回りましたが、コロナ禍が明け切らない中での開催としてはまずまずの出来だと思えます。募金額は66,700円でした。数字よりも学生たちの弾ける笑顔が見られたことが大変嬉しく思います。

最後に思わぬアクシデントも有りましたが、学生たちの一致団結で事無きを得ることが出来ました。また来年、再来年とコンサートを続けていける様に皆様のご理解、ご協力を宜しくお願ひします。ありがとうございました。

#### ■ニコニコBOX

安藤 公一／①1月29日チャリティーコンサート運営にご尽力された福村さん、新川さんお疲れ様でした。②2月3日の瀬谷RCとの合同例会参加の皆さんお疲れ様でした。楽しかったです。③平子さん本日の卓話宜しくお願ひします。

新川 尚／1月29日にチャリティーコンサートが開催されました。ご理解ご協力ありがとうございました。

内田 敏／平子さん本日の卓話楽しみです。よろしくお願ひいたします。

田川 富男／①米山マルチブル3回目をいただきまして、ありがとうございました。②平子さん卓話宜しくお願ひ致します。

佐藤 利明／平子様卓話よろしくお願ひします。

佐藤 真吾／①福村さん、新川さんチャリコンお疲れ様でした。②平子さん、卓話よろしくお願ひします。③誕生祝い、米山功労者有難うございました。

福村 正／久しぶりの生出席です。1月29日チャリティーコンサートは何とか無事終了できました。ご出席ありがとうございました。

市川 慎二／①平子さん卓話楽しみです。②合同例会もお疲れ様でした。楽しかったですね。

北澤 正浩／平子さん、卓話楽しみにしております。

平子 智章／今日は卓話の機会を与えて頂きまして、ありがとうございます。宜しくお願ひ致します。

#### ■卓話「2023年の行方」 平子 智章

##### ▶干支からみた2023年の行方

2023年の干支は「癸卯(みずのと・う)」です。干支は、10年周期の十干(じっかん)と12年周期の十二支を組み合わせた60年周期のものであり、古来より情勢変化を考察する参考材料とされてきました。



十干の「癸」は、冬に木々の葉が落ちて遮るものがなくなり、それまで見えなかった四方の水路の形をかたどった文字とされています。見通しが良くて物を測るのに便利のため、測るという意味に通じ、筋道を立てて一致協力することが含意されます。

十二支の「卯」は、神に供える羊肉を二つに切った形や無理やり門を押し開いた姿を表します。卯(ボウ)は冒に通じ、草木が繁茂する状態が含意されます。一方、ウサギ(兎)は世界中に分布し、毛皮や肉などが利用され、ペットとしても親しまれる身近な動物です。

以上を踏まえると、2023年は対応が遅れて山積みとなった重要課題に一致協力して対処する年であると考えられます。現在、行政のデジタル化やITを活用した既往ビジネスモデルの見直しなどの課題が山積しています。これらの課題に対し、合理的な解決策を見だし、解決に向け心を合わせて取り組む年といえそうです。

##### ▶新年のわが国景気の見直し

2023年のわが国経済は、海外景気の停滞色が強まることから、成長率が鈍化するとみられます。

まず、2022年のわが国経済を振り返りますと、1～3月期の実質GDP(国内総生産)は前期比-0.5%と、21年10～12月期(同+1.2%)のプラス成長からマイナス成長に転じました。年明け後に新型コロナウイルスの感染が拡大し、まん延防止等重点措置が適用されたことなどの影響で個人消費が落ち込みました。また、2月にはロシアがウクライナに侵攻し、世界経済の先行きに対する不透明感が強まったこ

とから、企業の投資マインドが慎重化し、設備投資も減少に転じました。

4～6月期の実質GDPは前期比+1.1%と、再びプラス成長に転じました。新型コロナの感染者数が減少したことで、外出を控える動きが弱まり、旅行や飲食などサービス関連泊費を中心に個人消費が増加しました。また、慎重化していた投資マインドが持ち直し、設備投資も再び増加しました。もっとも、企業の事業環境は厳しさが増しました。中国の上海市で都市封鎖が実施された影響で部品などの供給制約が生じ、わが国でも生産活動が一時的に落ち込みました。また、ロシアに対する経済制裁の影響などで原材料の価格が高騰したことに加え、米国の利上げの影響などで為替レートの円安が進んだことから、輸入物価が上昇し、企業の仕入れコストが大幅に上昇しました。

7～9月期の実質GDPは前期比-0.2%と、再びマイナス成長になりました。GDPの計算上の控除項目である輸入が一時的に大きく増加したことが成長率を押し下げました。また、夏場に新型コロナの感染者数が急増したことに加えて、輸入物価上昇の影響で電気・ガスや食料品などに値上げの動きが広がり、個人消費の増勢が弱まりました。

続く10～12月期の実質GDPは再びプラス成長に転じる見通しです。新型コロナの景気への影響が弱まり、10月に「全国旅行支援」がスタートしたことで、旅行などのサービス消費の伸びが高まるとみられます。もっとも、物価上昇の動きが強まることで消費者の節約意識が高まるため、財も含めた個人消費全体の増加は限定的になると予想されます。また、海外経済の減速感が強まっていることから、輸出や設備投資の増勢も鈍るとみられます。なお、10月に外国人の入国制限が大幅に緩和されたことで、インバウンド需要は急速に増加すると見込まれます。

新年のわが国経済を展望すると、企業部門では、輸出が年前半に弱含むとみられます。米国や欧州経済はインフレや金融引き締めの影響で年前半に停滞色が強まると見込まれます。このため、同期のわが国の輸出も弱い動きになると予想されます。ただ、年後半になると、中国経

済の成長率が次第に高まることに加えて、年終盤には米国景気がマイナス成長を脱するとみられることから、輸出の増勢が上向いてくるでしょう。なお、サービスの輸出については、コロナ禍で大きく減少していたインバウンド需要が、円安の追い風もあり、拡大基調で推移すると期待されます。

次に、設備投資は底堅く推移すると予想されます。設備投資に影響を与える企業業績の動向をみると、足元では円安による利益押し上げ効果で輸出企業などを中心に利益水準が高くなっています。しかし、2023年は海外経済の減速による需要の鈍化で企業の売上が伸び悩むことに加えて、4～6月期以降は為替レートが円高・ドル安に転じると見込まれることから円安による利益押し上げ効果も剥落するとみられます。その一方で、コロナ禍からの経済正常化が、国内企業の業績改善の追い風になると考えられます。このため、2023年の企業収益は年前半には小幅な減益に転じるとみられるものの、比較的高めの水準で推移すると見込まれます。

一方、企業の設備投資ニーズをみると、デジタル関連や省力化に対する投資ニーズが引き続き強いと見込まれるほか、コロナ禍からの経済正常化が違い、飲食店や小売店などサービス消費関連業種でも投資の必要性が高まると予想されます。企業収益が高めの水準で推移する下で、こうした投資ニーズが顕在化することで、設備投資が底上げされると期待されます。

個人消費については、物価上昇の影響などで家計の購買力が高まりにくいことから、伸び悩むと予想されます。2023年の消費者物価の動向を展望すると、世界経済減速による資源価格の低下や、為替レートの円高・ドル安により、次第に物価の伸びが鈍化すると見込まれます。しかし、企業業績がやや弱含むことから、賃金も伸び悩むと考えられます。物価の伸びが賃金の伸びを上回る状況が続くことから、家計の購買力を示す、実質賃金は弱い動きが続くことになるでしょう。

以上を踏まえ、浜銀総合研究所では2022年度の実質GDPは前年比+1.6%となり、23年度は同+1.0%に減速すると予測しています。

■次週卓話／佐藤利明会員